

令和 7 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R7.6.23
担当課名	都市政策課
グループ名	都市政策グループ
記入者名	

1 事業概要

(1)事業名	デマンドタクシー運行事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業
(4)第5次総合振興計画での位置づけ	(5)予算・財源等の別				
①基本目標	安全で住みよいまち都市基盤の充実	①会計区分	一般会計		
②大項目	道路・交通	②財源区分	町単独		
③中項目	バス輸送等の充実	③予算科目	款	8	項 3 目 1
④施策	公共交通空白地域の解消	④予算事業名	デマンドタクシー運行事業費		
⑤施策コード	3.5.4.2	掲載ページ	58	ページ	
(6)実施根拠	(7)総合戦略				
①事務分類(自治・法定受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	無		
②根拠法令・条例等		終了	未定	年	月まで
③事業期間	開始	平成29	年	4	月から

2 事業の目的・内容等

(1) 目的(何のために行うか)				(2) 内容(どのような取り組みか)			
「公共交通空白地域」の解消及び「自らの力で移動する手段を持たない高齢者等の移動支援」を目的とする。				(有)小川観光タクシーの車両とシステムを活用し、自宅及び町内282カ所の乗降ポイント間の移動ができる。利用料金は、タクシー運賃に応じて、500円、1,000円、1,500円の3段階制。利用料金とタクシー運賃の差額を、(有)小川観光タクシーに対し、町が補助金として支出する。			
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)				(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)			
小川町に住民登録のある16歳以上の方で、利用者登録をした方。				自ら自由に移動できる手段を持たず、真に公共交通を必要とする町民に対し、必要最低限の移動サービスを提供することができる。			
対象数	R6年度末登録人数	単位	人				

(5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)

公共交通空白地域の解消のため、小さな需要、広い範囲に対応した交通手段の導入及び、高齢者等が気軽に外出できる移動手段の確保(既存手段を含めた整理・再編)を支援する公共交通施策、また、移動目的(通院、買い物、交流等)に応じた公共交通網の形成が必要である。

(6)SDGsへの貢献

9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に
-------------------	------------------	--------------	-----------------

3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)

(1)事業(内容)名称		デマンドタクシー運行事業費				
項目	決算・予算年度	R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)当初予算
(2)事業費内訳						
報酬		0	0	0	0	0
報償費		0	0	0	0	0
需用費		0	0	0	0	0
役務費		17	21	24	20	35
委託料		0	0	0	0	0
その他		30,465	34,306	36,814	20,195	22,700
直接事業費合計		30,482	34,327	36,838	20,215	22,735
(3)財源内訳						
国庫支出金		0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0
その他特定財源		0	0	0	0	0
一般財源		30,482	34,327	36,838	20,215	22,735
合計		30,482	34,327	36,838	20,215	22,735
(4)補助金名						
(5)人件費						
投入職員数		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
年間人件費		7,628	7,542	7,521	7,772	8,032
(6)総事業費		38,110	41,869	44,359	27,987	30,767
サービス量(人)		6,283	6,643	7,016	7,258	7,258
サービス単価		6.1	6.3	6.3	3.9	4.2
(単位)		千円/利用登録者1人当たり				

4 指標の検証				デマンドタクシー運行事業費		
指標名			単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算
(1) 活動指標(実施した事業の量)						
指標名	デマンドタクシー運行件数	目標値	件	24,600	24,600	24,600
		実績値	件	30,054	22,991	
		達成率	%	122.2	93.5	
		目標値				
		実績値				
		達成率				
(2) 成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)						
指標名	公共交通空白地域の解消率	目標値	%	100	100	100
		実績値	%	100	100	
		達成率	%	100.0	100.0	
		目標値				
		実績値				
		達成率				
(3) その他指標に現れない成果						
デマンドタクシー事業は、「公共交通空白地域」の解消及び「自らの力で移動する手段を持たない高齢者等の移動支援」等、真に公共交通を必要とする町民に対して、必要最低限の移動サービスを提供している。						
5 事業評価						
(1) 項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている	
					2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である	
					3 その他()	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている	
					2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である	
					3 その他()	
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している	
					2 他に有効な代替手段が見当たらない	
					3 その他()	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	1	1 サービス単価は減少している	
					2 サービス単価を維持している	
					3 その他()	
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている	
					2 おおむね公平に分配されている	
					3 その他()	
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	1	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている	
					2 成果指標は、前年度より向上している	
					3 その他()	
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した	
					2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した	
					3 その他()	
(2) 総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)						
利用料金の改定を含めた運行形態の変更を行ったことにより、増加し続けていた町負担額は運行開始当初の水 準程度まで減少し、事業持続の可能性が高まる効果が出ている。 一方、実利用者数が約2割減少していることや、中心部から遠い地域などで利用を控えている動きが見られること から、引き続き、利用状況の推移を確認するとともに、運行形態変更後の影響評価を行う必要がある。 また、利用を控えている利用者へ、近所で誘い合い同乗したり、路線バスや鉄道の併用等、工夫した利用方法の 周知を図っていく。						
6 事業の方向性の判断				1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合		
評価主体	評価	評価についての説明				
(1) 一次評価 (担当課長)	2 現状維持	公共交通空白地域の継続的な解消及び高齢者等の移動手段の確保のため継続していきたい。				
(2) 二次評価 (政策推進課長)						
(3) 最終評価 (町長)						